

## 「第65回 小平南西部地域コミュニティ交通をみんなで考える会」の報告

- 開催日時：令和4年9月14日（水）14時～15時55分
- 出席人数：会場11人（欠席9人） 傍聴：3人

### 1 南西部地域の特性に即した新たな交通手段の研究

#### (1) 前回の振り返りと確認

- ・乗降場所は、自宅を含めない。運行区域は越えない。
- ・運行時間は、午前と午後に分け、12時台に1時間の休憩を設ける方向で、運行事業者と調整する。
- ・運賃は、単一運賃とする。

#### 質疑

- ・運行区域を越えたい場合は、乗り継ぐのか。  
→（公共交通課）同時に2つの運行区域の実証実験運行を実施することは、車両確保等の観点から困難であるため、乗り継ぎはできないと認識している。

#### (2) 運行事業者や作業部会での調整内容（報告） ※詳細については別紙を参照

##### 公共交通課からの説明

##### ①運行事業者との調整内容（令和4年8月17日、小平交通）

- ・タクシー車両を活用した運行は、車両の手配や乗務員の対応などから、困難な状況。
- ・タクシー車両を専用車両とした場合は、時間貸しとなり運行経費が高くなる。
- ・デマンド交通専用の車両で運行した場合について、コミュニティタクシーに準ずる運用をするため、運行経費が把握しやすい。また、以前に使用していた実証実験運行の車両（ワゴンボックス車両）が活用できる。
- ・運行地域は、鷹の台駅を挟んで、西と東を午前と午後で交互に運行してはどうか。
- ・乗務員の休憩や交代も含め、午前と午後に分けて、12時台に1時間の休憩を設けることで構わない。
- ・運賃設定に当たっては、タクシー事業との競合を回避し、棲み分けをして欲しい。

##### ②作業部会での調整内容（令和4年8月24日、小田倉氏、岩井氏）

- ・運行車両について  
運行事業者の状況を考慮し、タクシー車両との共用から、専用車両（実証実験運行で使用した車両）を活用することで良いのでは。
- ・運行時間について  
効率性や経費節減の観点から、中抜け時間を設けること、運行エリアを運行時間・曜日で分けることで検討する。

・運賃設定について

民業圧迫（タクシー・バス事業）の回避や公費負担に関して他のルートとの公平性を担保する観点から、検討する必要がある。

・運行時間：8時30分～17時30分 ※12時～13時運休（1時間）

1日8時間（480分）÷40分＝12回運行

平日運行：年間240日

※コミュニティタクシーの目標（1日70人）

150円×70人＝10,500円×年間240日＝2,520,000円

①3人乗車

300円 → 2,592,000円

400円 → 3,456,000円

②2人乗車

300円 → 1,728,000円

400円 → 2,304,000円

他のルートとの公平性を担保するため、コミュニティタクシーの目標人数で得られる収入に近い収入が見込まれる、3人乗車した場合の運賃300円が適当ではないかと考えられる。

### （3）今回の検討内容

資料1の他市で実績のある方式をミックスした④案をベースに引き続き検討し、新たな⑤案として運行パターンを考えていく。

#### 公共交通課からの説明（資料2）

・市の運行経費補助の考え方として、コミュニティタクシー（3ルート）に準じて、運行経費に対する補助額に限度額を設ける必要があると考えている。

※コミュニティタクシー

1ルート（1地域）年間500万円程度を上限（車両費や初期投資費用を除く）

・運行事業者との調整を踏まえ、デマンド型交通で運行する車両は、実証実験運行で使用した車両（ワンボックス車両）を使用する方向で了承していただきたい。

・運行経費は、コミュニティタクシーと同等程度の見込みである。

令和2年度はコロナの影響があったため、車両費を除く補助金は700～800万円であるが、例年は令和元年度並みの500～600万円で推移している。

・運賃収入の見込みシミュレーションとして、運行時間を8時30分から17時30分（12時～13時運休（1時間））とし、予約1回の運行時間を実証実験の運行時間を参考に40分で、平日運行日を240日とした場合、1回の乗車人数を3～5人、運賃を150円、200円、300円、400円とした場合の金額を示した。

・コミュニティタクシーの目標1日乗車平均70人（年間収入2,520,000円）と同等の収入を得るためには、運行1回の乗車人数3人、運賃300円と設定したシミュレーション結果として、収入2,592,000円が見込める。

## 協議

### 運行車両について

- ・車両は何を使うのか。  
→ (公共交通課) 実証実験運行時に使用した白いワンボックス車両を想定しており、その車両を使用する場合は、マグネットで実証実験運行中であることが分かるように表示した方が良く考えている。

### 運賃について

- ・タクシーの初乗りが 500 円で、コミュニティタクシーの運賃が 150 円なので、300 円はその中間ぐらいで丁度いいのでは。
- ・運賃がコミュニティタクシーより高い 300 円になることは、乗降場所がより自宅の近くになるメリットがあるが、時間が守られるかが心配である。  
→ (公共交通課) タクシーを利用した場合、時間指定予約が 700 円、初乗り運賃が 500 円で、合計 1,200 円かかる。デマンド交通にお得感を感じてもらおう PR が大切である。
- ・毎日利用する人は負担が大きいですが、週 1 回や月 1 回程度であれば、負担感はないのでは。
- ・(公共交通課) コミュニティタクシーでは、市の補助金額に概ね 500 万円の限度額を設けているので、他の地域との公平性を担保するため、デマンド交通にも限度額を設定する必要があると考えている。限度額を設定することで、持続可能な公共交通の維持につなげていきたい。
- ・現時点では、運賃 300 円を上限に考えてみてはどうか。
- ・前回のコミュニティタクシー実証実験運行では 150 円で、300 円だと倍となる感覚がある。しかし、300 円なりの利用するメリットとして、コミュニティタクシーの停留所よりも近くから乗れる、自宅から少し歩くとタクシーよりも安いことを打ち出してはどうか。

### 乗降場所について

- ・福島県浪江町で行われているデマンド交通の「なみえスマートモビリティ」は、予約をスマートフォンで行い、1,000 ヶ所程のバーチャル停留所がある。
- ・乗降場所の設定は多い方が良い。  
→ (小平交通) 乗降場所を設置する際は、行き止まりや、角の狭い所は避けてほしい。
- ・地域の住民に乗降場所について、アンケート調査をしてみてもどうか。
- ・コミュニティタクシー実証実験運行の停留所を、乗降場所に設定するのが良い。
- ・まずは、考える会のメンバーで乗降場所の候補地を挙げていく。
- ・コミュニティタクシー実証実験運行の時は、十小通りが通学路なので運行ルートとして設定できず、ニーズに合うルートではなく乗車人数が伸びなかった。デマンド交通には、運行ルートに制約があるのか。  
→ (公共交通課) 車両制限令の影響は無くなる。  
乗降場所は、公園や店、コンビニエンスストア、既存のバス停などに設定することを想定している。カーブや行き止まり、民家の駐車場の前など、乗降場所を設定できない場所を除き、候補地をリストに挙げてもらい、地図に落とし込みながら検討していただく。

なお、仮想の乗降場所であることから、後からでも柔軟に追加することができる。

#### 運行曜日について（実証実験運行時）

- ・（公共交通課）運行事業者から、実証実験を月・水・金曜日はA地域、火・木曜日はB地域と分けることで、2つの地域を同時に実験できるのではと提案があった。  
実証実験を2つの運行区域で同時に行うことで期間を長く設定し、定着した利用につながることを期待できるが、運行日時はシンプルで分かりやすくすることが重要である。
- ・曜日で分けると複雑になり、乗るのが難しくなる。単純な方が良い。
- ・利用者は高齢者なので、周知期間が必要であり、繰り返し周知する必要がある。
- ・実証実験運行後は、2つの地域の両方を運行させるのか、1つの地域だけの運行になるのか。  
→（公共交通課）市としては、交通不便地域の利便性の向上を図る方針があることから、実証実験運行の結果にもよるが、一定の利用者数が確保できれば2つの地域で運行できれば良いと考える。  
理解を求め利用促進につなげるためには、デマンド交通の運行システムについての説明会の実施や、利用者登録時に丁寧に説明する必要がある。6カ月程、実証実験運行を2つの地域で同時に行うことで、認知度も高まり定着することに期待する。
- ・実証実験は6カ月と決まっているのか。  
→（公共交通課）これまでの実証実験運行の実績は6～8か月であり、現時点では、次回実施する場合も同等の期間を想定している。
- ・この2年間で状況は変わっていて、車を持つ若者が多くなり、コロナ禍で高齢者は外出控えをしているので、前回の実証実験時のデータは参考にならないのでは。  
→（公共交通課）曜日ごとに分けて運行することについて、意向を調査する必要がある。
- ・利用者登録をしたい人を募集することで、乗りたい人がいる地域を把握することができるのでは。

## 2 その他

### （1）市からの情報提供

#### ①アンケート調査・ヒアリング調査への協力について

市の地域公共交通の基本方針策定に向けて、市民ニーズや意見収集のためのアンケート調査（10月末まで）、ヒアリング調査（～10月上旬）を実施している。

#### ②ワークショップ～地域で支える公共交通～参加者募集について

9月26日（月）まで募集

### （2）参加団体からの情報提供

#### ①黎明会から

- ・10月22日（土）市民公開講座「死生学」
- ・令和4年度講座案内「介護職員初任者研修課程」

②鷹の台団地小平自治会から

- ・玉川上水ネット10周年記念「玉川上水 上下流連携（羽村～日本橋）地区別展示と講演」 第3回「小平・野火止用水」
- ・9月18日（日）「鷹の台駅前商店街でお庭市」

《今後の予定》

**第66回 令和4年10月12日（水）14時から開催 ※場所 市役所 大会議室**

次回は、

- ・運行パターン④をベースに、乗降場所の候補地などについて、検討する。
- ・乗降場所については、運行地域に分けて、具体的な候補地を挙げて、地図に落とし込む作業をする。